



マナーキッズ。

公益社団法人 マナーキッズ® プロジェクトについて

第7版

後援

文部科学省

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会(「マナーキッズ®」調べ)

公益財団法人日本体育協会(マナーキッズ®スポーツ教室)

公益財団法人日本オリンピック委員会(第10回文部科学大臣杯マナーキッズ®ショートテニス全国小学生団体戦)

公益財団法人日本テニス協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)

公益財団法人日本ソフトテニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)

協力

小笠原流礼法 鈴木 万亀子総師範

早稲田大学スポーツ科学学術院「子供の姿勢研究班」(マナーキッズ®体幹遊び)

公益社団法人日本テニス事業協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)

公益社団法人日本プロテニス協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)

NPO法人日本シニアテニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)

日本女子テニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)

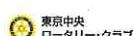
特別協賛



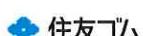
三菱東京UFJ銀行

SPORTS AUTHORITY

協賛



東京中央
ロータリー・クラブ



住友ゴム



日本児童教育振興財団 日清製粉グループ

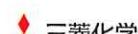
TEIJIN



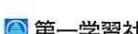
YASKAWA



KDDI



三菱化学



第一学習社

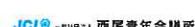


SEKISUI



(文部科学大臣杯全国小学生団体戦)

賛助



JCI -BUSS- 西尾青年会議所



朝日 ライオンズクラブ



清水王子 ライオンズクラブ



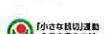
藤沢市立小学校



Kidzania



大坂東 ロータリー・クラブ



小金井町立運動場



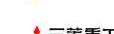
当利 ライオンズクラブ



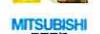
朝日 ライオンズクラブ



日本ソフトテニス連盟



三菱重工



MITSUBISHI
電機
Change for the Better



三菱地所



みなみの未来を創ける
住友生命



ELECOM



川崎市立ロータリー・クラブ



Impact



Credia



NOAH



prince



QREC



清水建設
株式会社

目次

	ページ
1. ご挨拶	2
2. 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト設立の背景と趣旨	2
3. 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト設立趣旨図示	3
4. 事例報告 マナーキッズ®ショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業 「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ®」を「市民科授業」に取り入れて— 「道徳の授業の中にマナーキッズ®教室を取り込んでみて」	4
5. 研究報告「マナーキッズ®テニスは子供の感情を改善する」	5
6. メディア掲載内容紹介	6・7・8・9
7. 小学校、幼稚園・保育園、教育委員会配布チラシ (1)マナーキッズ®体幹遊び	10・11
(2)「マナーキッズ®ショートテニス教室」を媒介とした体育・道徳融合授業	12・13
(3)マナーキッズ®親子でのひらテニス教室	14・15
8. 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの開催要領・開催事例 (1)マナーキッズ®体幹遊び	16
(2)小学校授業「マナーキッズ®ショートテニス教室」	17・18
(3)幼稚園・保育園授業「マナーキッズ®親子でのひらテニス教室」	17・18
(4)「マナーキッズ®」調べ	19
(5)総合型地域スポーツクラブ他におけるマナーキッズ®スポーツ教室	20・21
(6)文部科学大臣杯マナーキッズ®ショートテニス全国小学生団体戦	22
(7)「マナーキッズ®」調べ表彰者発表会	22
(8)マナーキッズ®大使の国際交流事業	23
(9)マナーキッズ®フォーラムの開催事業	24
(10)文化活動・社会活動でのマナーキッズ®教室の開催事業	25
9. 東日本大震災復興支援事業	25
10. 受講者の感想文、保護者からの手紙、小学校校長・教諭からの手紙	26
11. マナーキッズ®セミナー	27
12. 鈴木 万亜子総師範 著書「お母さんのための子どものしつけとマナー」	27
13. 田中 日出男理事長 著書「スポーツと礼儀で子供は変わる—礼儀正しさのDNAは残っている—」	27
14. 服部 幸應の食育読本	27
15. ヘルス＆マナーコミュニティ®活動とポイントカード	27
16. 遺言・相続・香典によるご寄附(宮城 黎子リマインドボール他)	28
17. 行政・ロータリークラブ他のご支援内容	29
18. 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの会員・会費及び寄付	30
19. 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの役員	30
20. マナーキッズ®教室開催要請書	31
21. e-マナーキッズ®の展開と情報発信	32

1 ご挨拶

子供・若者の状況がおかしい。多くの人がそう感じるようになってずいぶん時間がたちます。

人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空间と公的空间のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわからない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。そんな子供が増えつつあることを様々なデータは示しております。

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、このような子供・若者状況の是正に向けて、その一助になることを設立の趣旨に据えております。具体的には、スポーツ・文化活動に親しみながら、日本の伝統的な礼法を体験します。そして、マナーやルールを守り、物を大切にする気持ちを養います。保護者に対しても、家庭におけるマナーのしつけ方などを講習することによって、挨拶や礼儀作法などを習得して「体」「徳」「知」のバランスが取れた人材育成に寄与していきたいと考えております。

何卒、皆様方のご賛同、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。



公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト
理事長 田中 日出男

2 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト設立の背景と経緯

平成8年12月開始の

早稲田大学庭球部小学生テニス教室が原点(2014年36回目)

平成17年4月

公益財団法人日本テニス協会マナーキッズ®テニスプロジェクト発足

平成19年6月

NPO法人マナーキッズ®プロジェクト(平成22年2月認定取得)設立

平成26年10月

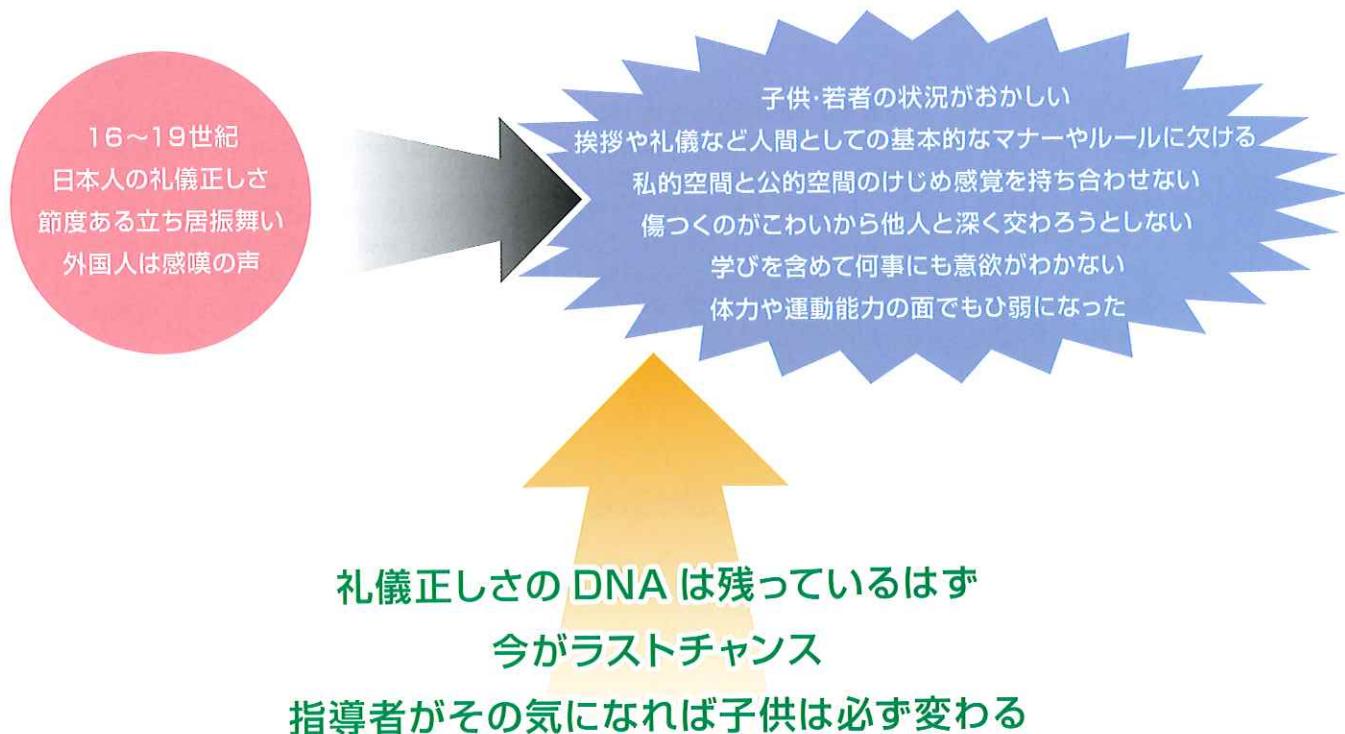
内閣総理大臣より、公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト認定書到達

・各地の小学校での反応

「挨拶をする子が増えた」「子供をプラス方向に変える力を持っている」「いじめを減らす効果が期待できそう」

・幼児期の運動体験は、身体的な発育・発達の面だけでなく、知能の発達にも資するとの研究報告が本プロジェクトよりなされています。

3 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト設立趣旨図示



スポーツ・文化など各種活動を通じて、日本の伝統的な礼法を体験させる
小笠原流礼法 鈴木万亀子 総師範との提携・協力関係

挨拶・礼儀作法などの
マナーを習得する

体力・運動能力の向上

知的能力の向上

「体」「徳」「知」のバランスの取れた人材育成

地域社会あるいは国際社会の中で市民として生きていく力を
個人レベル（主体性・自律性）、
対人関係レベル（自己と他者との関係）、
文化・社会レベル（個人と社会の関係）
いずれの面においてもきちんと身につけさせる

「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて—

品川区立浜川小学校 校長 矢田 雅久

学力向上の手立てとして、学習規律、生活規律の徹底。朝、昼の15分間の帯の時間や、パワーアップタイム（補修学習の時間）、習熟度学習の工夫。等さまざまな事柄に取り組んでいる。全校朝会や児童集会はもちろん、授業の最初と最後の挨拶でも、言葉を言ってから頭を下げて挨拶するという、マナーキッズで学んだ礼法を様々な場面で実践し定着を図っている。その結果、CRT（学力定着度調査）では、平成21年度と平成22年度のものを比較すると、21年度に実施していない1年生を除いた全学年で大きく向上している。規律の定着と学力向上について、中学年以上の児童を対象にして実施したアンケート調査の結果でも、学習規律や生活規律が身についている児童、または、意識して実施しようとしている児童は、身についていない児童、意識していない児童より、この一年間で大きく学力が向上していることが分かった。

「道徳授業の中にマナーキッズ®教室を取り込んでみて」

青森県八戸市立新井田小学校
教諭 藤原 公浩

授業を終えた教師の感想

授業後、教師の意識・指導が変わった！

- 学年に応じて、また、子供たちの反応に応じて、お話をさせていただいた鈴木万亜子先生に感謝したい。ありがとうございました。子供の前に立っただけで、その場の空気が変わった。私もそんなプロの教師でありたいと思った。
- 給食のお盆・皿・器・牛乳・箸を使っての具体的な話は、分かりやすく説得力があり、子供の心と頭にすっとしみ込んでいった。
- 改めて、自分（教師・大人）のマナーについて、目の前にいる子供のマナーについて考えるようになった。そして、今まで何でもないように感じていた自分や子供の行動・振る舞いに対して、「これでいいのかな？」「相手は不快ではないのかな？」と考えるようになった。
- あいさつでは、「残心」・「心のリボンを結ぶ」を意識するようになった。
- 子どもの様子を見てすぐしからのではなく、「マナーはどうかな…？」、「迷惑をかけていないかな…？」、「自分がされたらどうかな…？」というキーワードを子供に投げかけて、子供に考えさせるようになった。
- 自分自身も、「子供の前できちんと振る舞いをしなくては」と意識するようになった。
- 全校児童が、鈴木万亜子先生のお話を聞いたので、全校一貫した指導ができるようになった。「鈴木万亜子先生に教えていただいた立ち方をしてごらん！」というだけで、638人の子供たちが、凛とした姿で立てるようになった。

子供の意識が変わった。そして、行動として表現できるようになった！

- 授業の始まりと終わりのあいさつでは、教師の目を見てのあいさつができるようになった。
- 「残心」・「心のリボン」を意識したあいさつをすると、その後の動きに違いが出てくる。落ち着いて次の行動に移ったり、次の準備をしてから休み時間に入ったりする姿が増えた。
- 朝食をしっかり食べるようになった。
- 道具や教室に置かれている物を大切にしようとする子が増えた。
- 全校朝会で立つ姿や話を聞く態度が明らかに立派になった。
- 鈴木万亜子先生が、直接話さなかったことも良くなかった。例えば、机の上を整理整頓する姿、机をきちんとそろえようとする姿、お互いに譲り合う姿等に見られる。

今後への課題・意見・感想

- 教師・子供だけでもこれだけの効果があったのだから、保護者へもお話を設けることができると、さらに効果が上がると思う。何をするのでもそうだが、子供・保護者（地域）・学校の一貫した教育が望ましい。
- 教育界では、「食育」が話題になっているが、マナーという視点からもせまるべきではないだろうか。
- 教育界には、依然として新しいものに対して閉鎖的なところがある。鈴木万亜子先生のような「その道の達人」の方々を外部講師として大いに活用していくべきだと感じた。

5 研究報告

「マナーキッズ®テニス教室は子供の感情を改善する」

筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト理事
大森 肇

目的

マナーキッズテニス教室の大きな特徴は、1)最初の全員整列時に、大きな声で自己紹介をすること、2)休憩後にコートに集合するたびに、順番でコーチと練習するたびに、大きな声で挨拶すること、3)プログラム修了時の整列で指導の方々に挨拶し、次々と握手することなど、礼儀の徹底にあります。「自己紹介、礼儀指導、テニス指導、挨拶・声だし訓練による自信獲得と活気向上」という子供たちの変容を客観的に捉えることが研究の目的でした。

方法

筑波大学附属小学校5年生32名の皆さん方が本教室を受講しました。礼儀指導、テニスの技術指導(ラリー回数での自己目標設定や達成記録の自己報告を含む)、後片付け・掃除、道徳講話などがその内容です。プログラムの前後に心理学的な気分尺度であるPOMS(Profile of Mood States)と生理学的なストレス指標である唾液アミラーゼを測定しました。また、同じ皆さんを対象に、異なる日の同じ時間帯で、対照プログラムの「漢字練習とビデオ聴講」を行い、その前後で同様に測定しました。

結果

POMSのネガティブな指標の一つである「混乱」は対照プログラムでは変化せず、マナーキッズテニス教室の後には低下しました(図1)。これは他のネガティブな指標である「緊張・不安」「抑うつ・落込み」「怒り・敵意」「疲労・混乱」でも同様でした。一方、POMSのポジティブな指標である「活気」は対照プログラムで低下し、マナーキッズテニス教室の後では上昇しました(図2)。ストレス指標である唾液アミラーゼについては一定の傾向は見られませんでした。

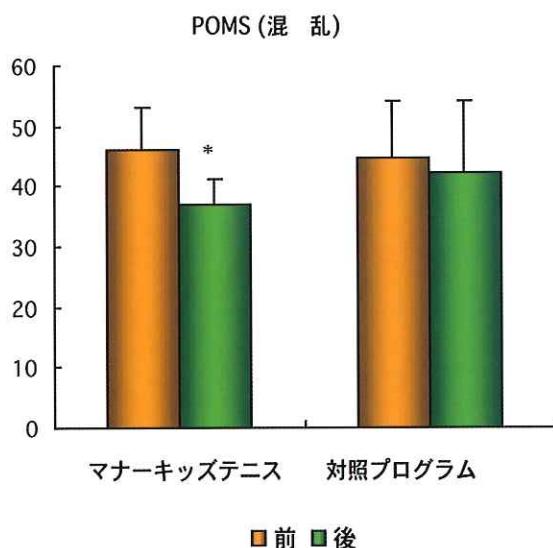


図1
マナーキッズテニス教室の後に「混乱」が低下した
数値は平均値土標準偏差を示し、*は統計的に意味のある変化を示す。

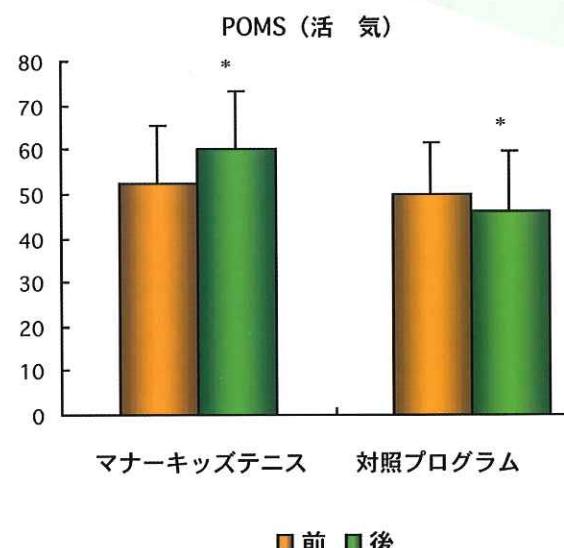


図2
マナーキッズテニス教室後に「活気」が上昇し、
対照プログラム後では「活気」が低下した
数値は平均値土標準偏差を示し、*は統計的に意味のある変化を示す。

6 メディア掲載内容紹介



NHK サタデースポーツ
2004年7月24日



NHK 暮らしの中のニュース解説
2005年4月26日



テレビ東京たけしのニッポンのミカタ! ニッポンらしさよどこへ行った?
2012年11月9日



タイ PBSテレビ 人間力の育成
2014年11月1日

THE WRITTEN WORD

LUKE BAKER

マナーキッズ

ちょうど一年前、子どもにテニスを通じてあいさつやマナーを習得させようというユニークな試みが全国で始まるところを紹介した。推進したのは日本テニス協会の「幼稚園・小学校マナーキッズプロジェクト」。二十二都道府県でのデモンストレーション教室開催などの活動が軌道に乗り、一定の成果を挙げつつあるようだ。／ジュニア育成用の狭いコートに低いネット、小さいラケットと軟らかいボールを使うテニス教室に、小笠原流礼法総帥範の礼儀指導員を組み入れた催しは、学校関係者や地域社会に好評だ。東京都、福岡県、和歌山県の三つの小学校では体育の授業として参加。／昨年十一月に小学生の全国大会を開き、英国での温ブードン選手権（六月）に派遣する六人の「マナーキッズテニス大使」を選んだ。プロジェクト責任者の田中日出男さんは「成績順で選んだわけではない」とのこと。六人は、きびきびした動きで球技を務める大会名物のホールバーソンと交流する予定だ。／一九四〇年生まれの田中さんは活動の生みの親だ。早稲田大学庭球部の主将だった。大企業の役員時代、あいさつができない社員が増えた。大企業の役員時代、あいさつができない社員が増えた。田中さんは自分たちの世代の責任を感じ、母後の庭球部に小学生テニス教室をつくったのが原点。サラリーマンを卒業した後、日本テニス協会でプロジェクトを本格化させた。

／最近、ほかの競技で同じような動きが芽を出した。日本サッカー協会が「こころのプロジェクト」を発足させ、「子どもたちの人間性を培う部分にサッカーリー協会がかかわる」（伊藤三郎会長）方針を打ち出した。／体育を通して健やかな分野に進出する。現代日本では、スポーツが社会的役割を広げる傾向にあるのかもしれない。（共同）

Manner kids

Exactly one year ago, I wrote an article introducing a unique experiment that was starting up nationwide to teach children greetings and manners through tennis. The main force behind this was the Japan Tennis Association's "Pre-School and Elementary Manner Kids Tennis Project." With activities such as demonstration classes getting off the ground throughout Japan's 22 prefectures, some concrete results are starting to emerge.

The events, which utilize Ogasawara Manners and Etiquette general instruction methods, are held on small, junior-sized training courts featuring low nets, small rackets and soft balls. So far they have been well-received by school personnel and local citizens alike. At certain elementary schools in Tokyo, Fukuoka and Wakayama, students can even participate in the sessions as a physical education class.

Last December, a national tournament was held to choose six "Manner Kids Tennis Ambassadors" to be sent to the Wimbledon Championships in the United Kingdom in June. According to project organizer Hideo Tanaka, "the ambassadors were not chosen based on their winning record." The chosen six are going to use what they've learned as they are scheduled to spend time with members of the well-known ball boys and ball girls at the tournament.

The project is the brainchild of Tanaka, who was born in 1940 and was once the captain of the Waseda University Tennis Club. While working as an executive at a major corporation, Tanaka noticed that many employees were not capable of giving proper greetings. Feeling that his generation was accountable for this, he started his experiment by launching a children's "tennis classroom" at his alma mater. After he quit being an office worker, he went ahead with the project through

the Japan Tennis Association.

Recently, similar courses using different sports have sprung up. The Japan Football Association, headed by Saburo Kawabuchi, has started its "Project of the Heart" which strives to "cultivate the human spirit of children through soccer."

This is a project that provides moral and intellectual learning through physical education. This could be an indication that modern day Japan is in the midst of broadening the social role of its sports.

「道徳」の力

6

学校でのマナー学習に協力するNPO法人がある。

「相手の顔を見て『ようしく述べます』と言つたら、腰を折り、頭ではなく心を下げます」「自分の心からリボンを出して相手の心と結びつけて下さい」と福岡県岡垣町立山田小学校

校の体育館で、日本古来の正しい礼儀作法を教える小笠原流礼法総師範 鈴木万亀子さんの声が響いた。鈴木さんは理學療法士を務めるNPO法人「マナーキッズプロジェクト」(本部・東京都杉並区)が企画した「マナーキッズ教室」だ。

1年生約150人は、あいさつの心得を聞いた後、ボランティアで県内外から集まつた愛好家が先生役にテニスを習つた。児童は、プレーごとに「よろしくお

教育ルネサンス

No.703



「握手するときは相手の目を見て」。マナーの学習を運動と組み合わせたマナーキッズ教室(山田小)



「道徳」で教えるマナー 現行の学習指導要領では、小学校の道徳の学習内容として、低学年で「気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する」、中学年では「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する」とある。また、指導計画の作成にあたっては、特に低学年で基本的な生活習慣を身につけるよう求めている。

あいさつや礼儀を教える機会が減る中で、外からの刺激は一定の効果を生む。催しをどう根付かせるかは、学校の宿題だろう。(高橋敦人、写真も)

マナー会得 外部指導で

願ひします」「ありがとうございます」「ざいました」とあいさつするのがルールだ。同じく校舎内のラウンドでは、4年生約90人が、移動した鈴木総師範から「あいさつは目下から目上にするのが先」「ねぶり書きをしてはいけない」といったマナーを教わった。

マナーキッズプロジェクト理事長の田中日出男さん(66)は、早稲田大学の庭球

部出身。大手化学会社の役員だった1996年、同部OBに呼びかけ、小学生にテニスを通じてマナーを教える教室を始めた。

会社で人事・労務を担当していた約20年前、社員が普段からあいさつをかわさないことに気付いたのが、

マナーを考えるようになつたきっかけ。「何でかなと思つていたら、近所の小学

校でも、登校した児童が先生にあいさつしない。以来、子供のうちから教える必要性を感じ続けていた」

2005年からは日本テニス協会が教室の普及に乗

り出し、これまでに全国約130か所で開催。田中さ

ムは今年6月、テニス以外

でもマナーが学べる教室が

展開できるよう、NPOを設立した。

7月に教室を開いた青森

県八戸市立新井田小学校で

は、教師があいさつのでき

ない児童に接する時、鈴木

総師範の言葉を引用して

「心のリボンが結べなくて

残念だな」と話すようにな

った。できるようになると

「あなたリボンが結べて

うれしい」とほめる。子供

たちにも「礼儀の総師範か

ら直接学んだ」という印象

が強く残っているからだ。

「児童をほめるきっかけが作れ、「またやつてみよう」と思わせる良いサイクルが生まれた。『ダメ出し』の指導をしがちだった教師の意識も変わった」と生徒指導担当の藤原公浩教諭

特集 連携で変化の芽をつかむ

しましよう』と言うだけなら誰でもできる。しかし正しいあいさつを教えるには、本物を見せることが一番」と、知己を頼り、鈴木さんの紹介を得た。『マナー』と『テニス』を結びつけることに当初は懐疑的だった鈴木さんだが、「常々子どもたちをはじめ、日本人のマナー低下について考えていた」思いと田中さんの熱意に心を動かされ、協力を決めた。自分の力が及ばない分野は他者の力を借りればよいという、柔軟な発想と行動力が新たな連携を作り出したといえよう。

柔軟さという点では、一昨年、最初に教室を受け入れた三谷小学校の対応も見逃せない。同校は「地域の力を借りなければ、学校は経営できない」との方針の下、近隣の農芸高校や工業高校、早稲田大学など連携し、教育プログラムの充実を図ってきた。その中で、学区内に住む田中理事長が活動場所を求めていることを知り、体育の授業内で受け入れることを決めた。

当時の学校長・大竹久江さん(現杉並区立済美教育センター指導教授)は、「学校に力を貸したいと考えておられる地域の方々は少なくないでしよう。ただ何を要求されてるかがわからないのだと思いません。ただ待つていては連携などありません。事あるごとにPTAや地

域の方々と情報交換を行つてきたことが、連携につながったのだと思ひます」と当時を振り返った。

点から線、面へ

三谷小学校のケースは、学校側の理解が得られたことでスマーズな連携が実現した。だが巷間言われるとおり、「開かれた学校」の掛け声とは裏腹に地域との連携に消極的な学校は少なくない。事実、マーケティングプロジェクト(東京・杉並)が専門依頼で企画されたマースキズテニス教室が体育授業として実施された小学校は、12都道府県40校にとどまっている。

また指導者の確保も大きな問題だ。現状では、PTAやリタイアした中高年者のサポートを受けていたが、「有資格指導者の活用、そして指導者の養成が今後の課題」と田中さん。

本事業の実施主体として、テニス協会とNPOが連携したのは、種目の枠を越え、あるいはスポーツ以外の活動団体とも連携・協力しやすい体制をつくるためだという。

「他競技の指導者や学校の先生の中にも我々と同じ思いを抱く人はいるはず。ただ、一人だけで思いを形にすることはできない。皆で手を携えて取り組むことが理想だ」と、田中さんは今後の広がりに期待する。

テニス・礼法をあわせて学ぶ。こんな取り組みを続けていい会員非営利活動法人「NPO法人」がある。伝統的な法の専門家が勢い、子供だけを保護者も増えている。実践の場をめざす。

相手の目を見て『まことに頬張ります』と言つてから頭を下げるのが禮です。月曜日、北九州

市立北方小学校の体育館

保護者も対象に教室 NPO法人、学校巡回

話す「家庭のしつけ」に

と話した。

同プロジェクトは2007年設立。道守連って親子間による講義の柱は、親目上の人気勢い気持ちはP.O.を身につけさせること。友関係ではなく、親子間でも挨拶を教えるためあいさつをしないなど子供のマナー低下で危機感を抱いていた理長の田中曰出根さん(89)が中心となり、全国を巡回。これまで約500校で巡回し、延べ約万人が参加したという。この3年で参加者は7倍に増えた。テニスだけでなく、ラケットやボールは校内寄付もある。

らいふプラス

2010年(平成22年)11月26日(金曜日)

テニス・礼法でマナー鍛錬

専門家と組み「目上を敬う気持ちとTPOを」



プレーを学ぶたびにおれを言い、指導役と握手する児童(北九州市立北方小学校で開かれたマナー教室)

握手を通じてあいさつやマナーを徹底するスポーツ教習などは多いが、同NPO法人の特徴は、鈴木さんと小笠原流礼法の師範グラスという「振舞作法のプロ」という「振舞作法のプロ」と「三人三脚」指導すること。加えて「子供だけでなく保護者にも参加を促す」とのことだ。この日も、子供たちが体育館で汗を流している間に、母親ら約10人が校内のみんなで、子供だけでなく保護者にも参加を促す。

専門家も普段よりは「保護者もできるだけ参加する」と。田中理事長は「保護者の負担を減らすために、保護者も一緒に運動してもらう。それがいい」と話す。

スポーツ用品「TPO」などの専門知識をもとに運営し、参加する学校の費用負担はほとんどない。ラケットやボールは校内寄付もある。テニスだけでなく、ラケットやボールは校内寄付もある。

ルポ／連携で活性化する現場

3.『NPO法人マナーキッズプロジェクト』の場合



教室の実施には指導者の協力が不可欠

（財）日本テニス協会は2005年、子どもたちへのテニスの普及と基本的マナーの習得などを目的とする「幼稚園・小学校マナーキッズプロジェクト」を立ち上げた。全国の学校や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などに赴き、年間で約250回開催された。

実際に教室の運営を取り仕切るのは、日本テニス協会普及本部の田中日出男さん（66歳、NPO法人マナーキッズプロジェクトを守り伝える小笠原流礼法も、スポーツの価値を取り戻したいと考えた）

柔軟な発想が連携を生む

礼法。教室には、その総師範、鈴木万亀子さんが必ず同席し、「あいさつをしてから頭を下げる」手の心に結び付けるつもりで」と丁寧な指導を行う。テニスと小笠原流礼法を結びつけたのは田中理事長。「『あいさつを

地域のスポーツ環境を語る上で、学校や地域の動きを抜きに考えることはできない。閉鎖的と指摘されることが多い学校との連携は、どのように進めれば成功するのか。（財）日本テニス協会と連携して全国の小学校で草の根の活動を行う“NPO法人マナーキッズプロジェクト”の取り組みを紹介する。

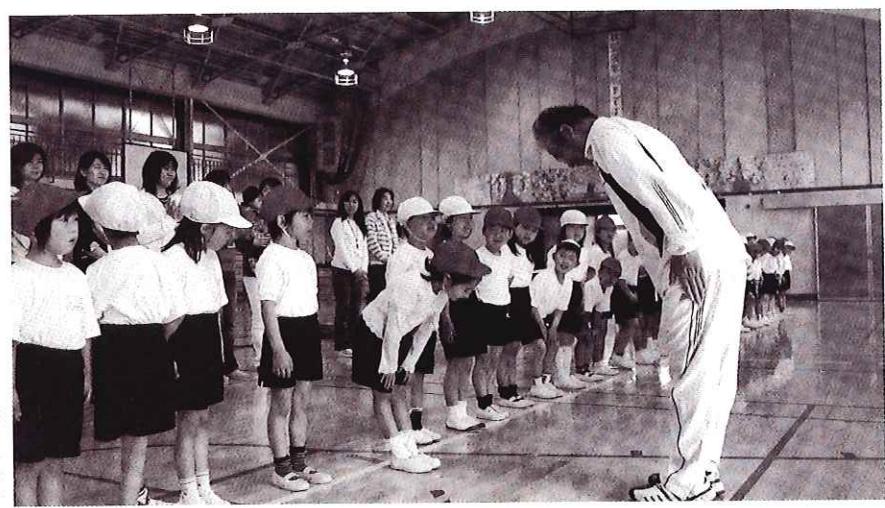
スポーツでマナー教育

「おねがいします！」
「ありがとうございました！」

体育館のあちらこちらで子どもと大人の元気な声が響きわたる。さる4月25日、東京都杉並区の三谷小学校で開催された「マナーキッズテニス教室」での一コマだ。

（財）日本テニス協会は2005年、子どもたちへのテニスの普及と基本的マナーの習得などを目的とする「幼稚園・小学校マナーキッズプロジェクト」を立ち上げた。全国の学校や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などに赴き、年間で約250回開催された。

ロジエクト理事長を兼務）。田中さんは、NPO設立以前の96年から、テニスを通じてマナーを教える教室を実施してきた。



マナーキッズ教室は、あいさつから始まる（写真右が田中理事長）

7 小学校、幼稚園・保育園、教育委員会 配布チラシ

(1) マナーキッズ®体幹遊び

マナーとルールは「人間力」の第一歩
文部科学省後援 マナーキッズ®プロジェクトのご案内

マナーキッズ®体幹遊び

マナーキッズ®プロジェクトは、
スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、
<体・徳・知>バランスのよい子供を育てる公益社団法人です。

47都道府県
120,000人以上が
参加!
(小学校児童、幼稚園・保育園児)

事例報告
「規律正しい児童は
学力も大きく
向上する!」

プログラムは、子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかける
<体育>、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツmanshipを
習得させる<徳育>、運動で知性を育む<知育>を考慮して組ま
れており、既に実施した全国各地の小学校、幼稚園・保育園から
高い評価を得ています。

写真提供: フォート・キシモト

マナーキッズ®体幹遊びとは?

(小学校対象 幼稚園・保育園は小学校に準じる)

①児童への「正しい姿勢」「お辞儀・挨拶」指導

2時間と3時間の休み時間の10分間に、全校児童対象に専門家が、
「正しい姿勢」「お辞儀・挨拶」の仕方を指導します。

②先生へのマナーキッズ®体幹遊び指導要領・フォロー要領の説明

学校生活において、正しい姿勢を身に付けるために体幹を鍛える方法の指導と
フォロー要領の説明を行います。

マナーキッズ®体幹遊びのフォロー
「マナーキッズ®」調べ

詳しくは、裏面をご覧ください。→

「正しい姿勢」を身に付けさせるために、体幹を鍛える!

引用: 東京都教職員研修センター
「子供の体幹を鍛える~正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証~」

イ 授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える。

ロ 学校生活(体育や保健体育の時間や休み時間等)において身体活動量を増やして体幹を鍛える。

ハ 朝の会等での運動を通して体幹を鍛える。

マナーキッズショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業(別紙参照)の同時開催を奨励します。

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階
TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580
E-mail: office365@mannerkids.or.jp
URL: http://www.mannerkids.or.jp/ マナーキッズ 検索

マナーキッズ® 公益社団法人 マナーキッズ® プロジェクト

「マナーキッズ」調べによるフォロー

(明石 要一 千葉大学名誉教授・千葉敬愛短期大学学長 ご提言)

「マナーキッズ」調べは、次代を担う子供達が、将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になるために、幼稚園・保育園在園中、小学校在校中に身に付けたい、言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確にしています。

5編50項目(幼稚園・保育園は、5編25項目)の質問に児童自らが回答し、合計点や平均点を算出します。

「マナーキッズ」調べ 帳票
(小学校1~4年生用)

●「マナーキッズ」調べの流れ

```

graph TD
    A["「マナーキッズ」調べの自己採点"] --> B["保護者との話し合い"]
    B --> C["先生との話し合い"]
    C --> D["次回の目標点を決めて数ヶ月後に再度、自己採点"]
    D --> E["表彰"]
    E --> A
    
```

● 表彰 (この表彰は団体ごとの任意です)

5編合計点ごとに表彰をします。
また、前回より20点以上向上した場合も表彰します。

● 表彰者発表会の開催とマナーキッズ大使の海外派遣

年1回、10月に東京で「マナーキッズ」調べ表彰者発表会を開催します。特に優秀な方で、マナーキッズ大使に該当する場合は、4年生以上から1名をマナーキッズ大使に任命し、アメリカのサマーキャンプへ派遣します。

「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて— 品川区立浜川小学校 校長 矢田 雅久

学力向上の手立てとして、学習規律、生活規律の徹底。朝、昼の15分間の休憩時間や、パワーアップタイム(補修学習の時間)、習熟度学習の工夫等さまざまな事柄に取り組んでいる。全校朝会や児童集会はもちろん、授業の最初と最後の挨拶でも、言葉を言ってから頭を下げて挨拶するという、マナーキッズで学んだ礼法を様々な場面で実践し定着を図っている。その結果、CRT(学力定着度調査)では、平成21年度と平成22年度のものを比較すると、21年度に実施していない1年生を除いた全学年で大きく向上している。規律の定着と学力向上について、中学生以上の児童を対象にして実施したアンケート調査の結果でも、学習規律や生活規律が身についている児童、または、意識して実施しようとしている児童は、身についていない児童、意識していない児童より、この一年間で大きく学力が向上していることが分かった。

メディア掲載



NHK「暮らしの中のニュース解説」



朝日新聞



日本経済新聞

後援・協力・特別協賛・協賛・賛助

後援

文部科学省
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会(「マナーキッズ」調べ)
公益財団法人日本体育協会(マナーキッズ・スポーツ教室)
公益財団法人日本オリンピック委員会
(第10回文部科学大臣杯マナーキッズ・ショートテニス全国小学生団体戦)

協力

小笠原流礼法 鈴木 万亀子認証範
早稲田大学スポーツ科学術院「子供の姿勢研究班」

特別協賛

三菱東京UFJ銀行 **SPORTS AUTHORITY**

協賛

東急中央ロータリークラブ **住友ゴム** **hat** 日本児童教育振興財団 日清製粉グループ **TEIJIN**
YASKAWA **KDDI** 三菱化学 **第一学習社** **SEKISUI** ムトウユニパック
YSC **ANA** **YONEX** **DUNLOP** **SYMONS** **BIG**

賛助

JCI 西関東企画会社 **Asahi** **IMPACT** **NEAH** **prince** **REC**
日本ロータリーフラッグ **LENNIN** **ELECOM** **ロータリーフラッグ** **ロータリーフラッグ** **ロータリーフラッグ**
MITSUBISHI **三菱地所** **住友商事**
「この事業は財団法人ヨネックススポーツ振興財団の助成を受けて実施しています。」

(平成26年10月1日現在)

(2)マナーキッズ®ショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業

マナーとルールは「人間力」の第一歩

文部科学省後援 マナーキッズ®プロジェクトのご案内

体育・道徳融合授業開催で “学校、幼稚園・保育園が変わります”

マナーキッズ®プロジェクトは、
スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、
<体・徳・知>バランスのよい子供を育てます。



プログラムは、子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかける
<体育>、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップ
を習得させる<徳育>、運動で知性を育む<知育>を考慮して
組まれており、既に実施した全国各地の小学校、幼稚園・保育園
から高い評価を得ています。



心 媒介

- 小学校
マナーキッズ®ショートテニス教室
- 幼稚園・保育園
マナーキッズ®親子でのひらテニス教室



心 講師紹介

鈴木 万亀子 (小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範)

小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、の伝総師範を賜る。
玉川学園女子短期大学にて10年、講師を歴任。現在、中学校3校の道徳
講師を務める。霞会館、その他において後輩を育成するかたわら、
警視庁出版物執筆、映画「たそがれ清兵衛」「武士の一分」その他、TV
ドラマで所作指導。小笠原流茶道古流、山田流箏曲、華道も教授し、
企業研修指導も行う。
著書:「お母さんのための子どものしつけとマナー」(C&R研究所発行)

田中 日出男 (公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長)

平成8年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学
庭球部小学生テニス教室を開始。早稲田大学庭球部主将、三菱化学株式
会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成17年4月、
公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトディレ
クター、平成19年6月からNPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長、
インパクト・コンサルティング顧問。
著書:「スポーツと礼儀で子供は変わる」(芸術新聞社)

心 体育・道徳融合授業他 申込先、お問合せは



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

心 後援・協力・特別協賛・協賛・贊助

後 援

文部科学省
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会 (『マナーキッズ』調べ)
公益財団法人日本体育協会 (マナーキッズ、スポーツ教室)
公益財団法人日本オリンピック委員会
(第10回文部科学大臣杯マナーキッズ、ショートテニス全国小学生団体戦)
公益財団法人日本テニス協会 (マナーキッズ、ショートテニス教室)
公益財団法人日本ソフトテニス連盟 (マナーキッズ、ショートテニス教室)

協 力

小笠原流礼法 鈴木 万亀子 総師範
公益社団法人日本テニス事業協会 (マナーキッズ、ショートテニス教室)
公益社団法人日本プロテニス協会 (マナーキッズ、ショートテニス教室)
NPO法人日本シニアテニス連盟 (マナーキッズ、ショートテニス教室)
日本女子テニス連盟 (マナーキッズ、ショートテニス教室)

特別協賛

MUFG 三菱東京UFJ銀行 SPORTS AUTHORITY

協 賛

日本中央ローリングクラブ 住友ゴム hat 日本足直教育振興財團 日活製作グループ
TEIJIN YASKAWA KDDI 三菱化学 第一学習社
SEKISUI ムトウユニパック YSC ANA YONEX
DUNLOP SYMONS DODI elc

贊 助

JCI 西南青年会議所 ジャパンマツダ フジタクラフト ローリングクラブ MITSUBISHI Chemicals
日本ローリングクラブ 住友金属工業 ミツダクラフト ローリングクラブ 三井機工 NOHNI
三菱地所 住友生貿 明治アーツ KDDI IMPACT
prince RBC SONY ELECOM ローリングクラブ ローリングクラブ
EAST WEST TENNIS IMPACT

【この事業は財団法人ヨネックススポーツ振興財团の助成を受けて実施しています】 (平成26年10月1現在)

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階

TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580

E-mail: office365@mannerkids.or.jp

URL: http://www.mannerkids.or.jp/

マナーキッズ 検索▶
裏面へ ➔

マナーキッズ®ショートテニス教室を媒介とした体育・道徳融合授業のフォローを
下記のマナーキッズ®体幹遊び及び「マナーキッズ®」調べにより行って下さい。

マナーキッズ® 体幹遊び

(小学校対象 幼稚園・保育園は小学校に準じる)

「正しい姿勢」を
身に付けさせてるために、
体幹を鍛える！

引用: 東京都教職員研修センター
「子供の体幹を鍛える~正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証~」

口 学校生活(体育や保健体育の時間や休み時間等)
において身体活動量を増やして
体幹を鍛える。



ケンケン相撲など

イ 授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える。



八 朝の会等での運動を通して
体幹を鍛える。

タオルを使つた
運動など



「マナーキッズ®」調べ 再度、世界の人々から尊敬される日本人を目指して

監修 千葉大学名誉教授 明石 要一 小笠原流礼法松師範 鈴木 万亜子

体育・道徳融合授業で学んだ正しいお辞儀・挨拶の家庭・学校でのフォローとして、幼稚期・小学校期に身につけたい、言葉・正しいお辞儀・挨拶・歩き方・姿勢・生活・社会規範を明確にした、本人・保護者・教師が一体となって取組める「マナーキッズ®」調べをご活用ください。



「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ®」を「市民科授業」に取り入れて— 品川区立浜川小学校 校長 矢田 雅久

学力向上の手立てとして、学習規律・生活規律の徹底。朝、昼の15分間の帯の時間や、パワーアップタイム(補修学習の時間)、習熟度学習の工夫等さまざまな事柄に取り組んでいる。全校朝会や児童集会はもちろん、授業の最初と最後の挨拶でも、言葉を言ってから頭を下げて挨拶するという、マナーキッズ®で学んだ礼法を様々な場面で実践し定着を図っている。その結果、CRT(学力定着度調査)では、平成21年度と平成22年度のものを比較すると、21年度に実施していない1年生を除いた全学年で大きく向上している。規律の定着と学力向上について、中学年以上の児童を対象にして実施したアンケート調査の結果でも、学習規律や生活規律が身についている児童、または、意識して実施しようとしている児童は、身についていない児童、意識していない児童より、この一年間で大きく学力が向上していることが分かった。

メディア掲載



NHK「暮らしの中のニュース解説」



読売新聞



日本経済新聞

「マナーキッズ®」「e-マナーキッズ®」「マナーコミュニティ」「ヘルス&マナーコミュニティ」「キャラクターの回形」「回形(ハート)」は、
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの商標登録です。

体育道徳融合授業の開催事例 (2時限=90分)



姿勢を正しく、相手の目を見ながら元気よく大きな声で自己紹介



小笠原流礼法の鈴木万亜子松師範により正しいお辞儀を練習



よろしくお願いします
ありがとうございますと、繰り返し挨拶



マナーキッズ教室が終わると全員で後片付けどと掃除



修了証書授与では、しっかりと相手の目を見て「ありがとうございます」



教室の最後に、指導者全員に見て、お礼の握手

(3)マナーキッズ®親子てのひらテニス教室



マナーキッズ® 親子てのひらテニス教室

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、
＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てるべく全国で活動しておりますが、株式会社スポーツフォーオールの開発した、軽く、柔らかな素材でできている「てのひらけっと」を使用してマナーキッズ®親子てのひらテニス教室を展開しております。

園児は「てのひらテニス」を通じて、小さな頃に必要な神経系のトレーニングの一助にするとともに、
基本的な挨拶・お辞儀の仕方を体得します。また、保護者も指導陣に加わることで、正しいお辞儀・挨拶
の仕方を習得し、かつ、小笠原流礼法鈴木万亀子総師範の「家庭内の嬢」講話を聴講することにより、
子育てに必要な心構えを習得していただきます。



なぜ小さな頃にテニスがいいのか。
神経系身体機能を伸ばす要素が豊富なスポーツである。
テニスは
①道具を用いる点
②総合的な動体視力が求められる点
③多方向への動作を必要とする点
④状況に応じた動作が求められる点から、
コーディネーショントレーニング(神経系の発達を促す運動)
として最適と言われている。幼小児期は特に神経系発達の伸び
が著しく、その間に取り組むことで身体能力を効果的に高める
ことができる。

なぜラケットじゃなく「てのひらけっと」を使うのか。
小さな子は「グー」じゃなくて「パー」が得意。
個人差があるが、鉛筆で綺麗に字が書けるようになる年令くらいまでは、ラケットを握り、振ってボールを打つ、というのではなく、手を動かす。手のひらの感覚でボールを扱う開いた「パー」の状態で打球し、手のひらの感覚でボールを扱う。そのため、早いうちからテニスに必要な様々な能力を養うことができる。



申込・お問合せは



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階

TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580

E-mail: office365@mannerkids.or.jp

URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

マナーキッズ

検索



**マナーキッズ®プロジェクトは、
スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、
<体・徳・知>バランスのよい子供を育てます。**



講師紹介

鈴木 万亜子 (小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範)

小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、的伝継師範を賜る。玉川学園女子短期大学にて10年、講師を歴任。現在、中学校3校の道徳講師を務める。霞会館、その他において後輩を育成するかたわら、警視庁出版物執筆、映画「たそがれ清兵衛」「武士の一分」その他、TVドラマで所作指導。小笠原流茶道古流、山田流箏曲、華道も教授し、企業研修指導も行う。

著書:「お母さんのための子どものしつけとマナー」(C&R研究所発行)

平成17年4月から開始した公益財団法人日本テニス協会幼稚園・小学校マナーキッズ®テニスプロジェクトが原点。プログラムは、子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかける<体育>、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる<德育>、運動で知性を育む<知育>を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ている。全国で初めて予算化した品川区の浜川小学校から「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて—という事例報告がされている。

15

田中 日出男 (公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長)

平成8年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学庭球部小学生テニス教室を開始。早稲田大学庭球部主将、三菱化学株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成17年4月、公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトディレクター、平成19年6月からNPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長、インパクト・コンサルティング顧問。

著書:「スポーツと礼儀で子供は変わる」(芸術新聞社)

後援

文部科学省

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会(「マナーキッズ」調べ)
公益財団法人日本体育協会(マナーキッズ、スポーツ教室)
公益財団法人日本オリンピック委員会
(第10回文部科学大臣杯マナーキッズ、ショートテニス全国小学生団体戦)
公益財団法人日本テニス協会(マナーキッズ、ショートテニス教室)
公益財団法人日本ソフトテニス連盟(マナーキッズ、ショートテニス教室)

協力

小笠原流礼法 鈴木 万亜子總師範

公益社団法人日本テニス事業協会(マナーキッズ、ショートテニス教室)
公益社団法人日本プロテニス協会(マナーキッズ、ショートテニス教室)
NPO法人日本シニアテニス連盟(マナーキッズ、ショートテニス教室)
日本女子テニス連盟(マナーキッズ、ショートテニス教室)

特別協賛

○ 三菱東京UFJ銀行

SPORTS AUTHORITY

協賛

○ 岩手県ロータリークラブ	◆ 住友ゴム	hat	日本児童教育振興財団	日清製粉グループ
TEIJIN	YASKAWA	KDDI	三菱化学	第一学習社
SEKISUI	ムトウユニパック	YSC	ANA	YONEX
DUNLOP	SYMONS	BIG		

賛助

JOIE	西武百貨店	ヨコハマタイヤ	ヨシヅヤ	三井物産	MITSUBISHI
大正	ローラークラブ	アリオ	セイシカ	三井重工	DAIKIN
三越	アリオ	アリオ	アリオ	IMPACT	NOAH
prince	住友商事	アリオ	アリオ	ELECOM	ヨコハマタイヤ
REC-	PTT	アリオ	アリオ	ヨコハマ	ヨコハマ
スヌーピー	新日本建設	アリオ	アリオ	ヨコハマ	ヨコハマ
YOSHINO	ヨコハマ	アリオ	アリオ	ヨコハマ	ヨコハマ



**スポーツオーソリティは
マナーキッズ®プロジェクトを
応援しています。**

スポーツオーソリティ
sportsauthority.co.jp

SPORTS AUTHORITY on Facebook & Twitter
Facebook Twitter



5,400円以上お買い上げで 送料無料

「この事業は財団法人ヨネックススポーツ振興財団の奨励を受けて実施しています。」(平成26年10月1日現在)

9 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト開催要領・開催事例

(1) マナーキッズ®体幹遊び

(1) 2時間と3時間の休み時間の10分間に、全校児童対象に専門家による、正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方の指導。

小笠原流礼法鈴木万亜子総師範による正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方は次のイラストの通りです。

正しく立ちましょう



正しくおじぎをしましょう



16

(2) 教諭に対するマナーキッズ体幹遊び指導要領・フォロー要領の説明。

児童に対して、体育・保健体育の全スポーツ及び日常の学校生活を通して、正しい姿勢を体得させるわけですから、まず、先生方が小笠原流礼法鈴木万亜子総師範から教わった正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を反復練習して下さい。(「マナーキッズプロジェクト」で検索して下さい。動画でご覧出来ます。)そして、次のような体幹を鍛える場面で、児童に正しい姿勢、お辞儀・挨拶を体得させて下さい。

(3) 「正しい姿勢」を身に付けるために、体幹を鍛える。

(引用:東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」)

「体幹」とは何ですか。

解剖学的には「頭部と四肢(両腕・両足)を除いた部位」となり、胴体と呼ばれる部分を指します。内臓を所定の位置に収める(生命維持)機能、体を支える(姿勢維持)機能、体を動かす(運動)機能の三つがあります。体幹を支える主な筋肉には、腹直筋、大胸筋、広背筋、脊柱起立筋などがあります。

「体幹」を鍛えると、どうして正しい姿勢が身に付くのですか。

胸部から腰部にかけての体の中心部である「体幹」の筋肉を鍛えることにより、体を支えることができ、正しい姿勢を保ち続けることができます。

正しい姿勢とは、どんな姿勢ですか。

背筋を伸ばし、あごを引き、顔が正面を向いた状態を、立ったときと座ったときの正しい姿勢と捉えています。

イ

授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える。



ロ

学校生活(体育や保健体育の時間や休み時間等)において身体活動量を増やして体幹を鍛える。

ケンケン相撲など



ハ

朝の会等での運動を通して体幹を鍛える。

運動など
タオルを使った



当法人ホームページにおいて動画でご覧になれます。

(2) マナーキッズ®ショートテニス教室を媒介とした小学校体育・道徳融合授業開催の支援事業

<開催要領>

■小学校体育・道徳融合授業について

- 開催時間: 2時限(90分)を原則
- 開催場所: 小学校体育館を原則
- 対象: 1年生~6年生
- 実施方法: 正しいお辞儀・挨拶の礼法指導は全学年対象に実施する。
マナーキッズ®ショートテニス教室は次のいずれかによる。
 - ・全学年対象。
 - ・特定の学年で開催する。



(3) マナーキッズ®親子でのひらテニス教室

<開催要領>

■幼稚園・保育園

○開催時間: 基本型

- 10:00~10:30 小笠原流礼法鈴木万亜子総師範「家庭内の躾」講話聴講
- 10:30~10:45 親向け正しいお辞儀、挨拶の仕方及び園児指導方法伝授
- 10:45~10:55 園児向け正しいお辞儀、挨拶指導
- 10:55~11:45 「てのひらけっと」を使いお辞儀、挨拶を反復練習
- 11:45~12:00 修了式(修了証書授与、お礼の挨拶)



17

○開催場所: 幼稚園・保育園

○対象: 全国の幼稚園・保育園 年少組、年中組、年長組対象

○実施方法: 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトが実施しているマナーキッズ®ショートテニス教室 (ラケットは通常の半分、スポンジボール、ネットは低い、コートは通常の4分の1)を「てのひらけっと」を使用して実施する。

○用具: 開催を希望する幼稚園・保育園は「てのひらけっと」及びスポンジボールを購入する。用具の貸し出しも行う。

■開催事例・スケジュール

1 開講式 (10分)



姿勢を正しく、相手の目を見ながら
元気よく大きな声で自己紹介

開講式は整列し、あいさつをすることから始まります。しかし、照れもあるのか、慣れていないのか、なかなか大きな声が出ません。声が出るまで何度もあいさつをします。

続いてみんなの前で自己紹介。姿勢を正し、一步前へ。お辞儀をして「○○です。よろしくお願いします」。

② 鈴木万亜子総師範のマナー講座 (10分)



小笠原流礼法の鈴木万亜子総師範により正しいお辞儀を練習

鈴木總師範が伝える3つのマナー

- 一.マナーとは約束を守ることから始まる。
- 二.自分がされて嫌なことは、人にはしない。
- 三.人の話は正しい姿勢で、相手の顔を見て聞く。

③ 練習 (50分)

いよいよ実践!

準備運動、デモンストレーション見学後、コーチから本格的な技術を習います。

しかし、本当に重要なポイントは技術ではなく、正しい姿勢とあいさつです。

自分の順番がきたら大きな声で「よろしくお願いします!」、終わったら「ありがとうございました!」。

できるまで何度も繰り返し、自然に声が出るようになります。



④ 後片付け (10分)



みんなで後片付けと雑巾かけ

すべてのスケジュールが終わったらみんなで後片付け。最後は一齊に雑巾かけをします。

⑤ 閉講式 (10分)

マナーキッズ教室 総仕上げの場

閉講式は開講式の復習もあります。わずか90分で素早い整列と元気なあいさつができるようになります。

修了証書授与では、しっかり相手の目を見て「ありがとうございます」。

最後に、指導者全員と目を見てお礼の握手、そして「ありがとうございました!」



⑥ 感想文提出

感想文を書くことによって子どもはマナーやルールの大切さについて一層認識を深めます。

(4)「マナーキッズ®」調べ

(明石 要一 千葉大学名誉教授・千葉敬愛短期大学学長 ご提言)

(1) 「マナーキッズ®」調べの目的について

幼児期、小学校期に身につけたい、言葉、正しいお辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確にし、それに向かって、本人、保護者、教師が一体となって取組み、次代を担う子供達が将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になる一助にすることを目的にしております。

(2) 「マナーキッズ®」調べの流れについて



1回目の得点が、仮に60点とします。その時数ヵ月後の目標を、例えば80点と定めます。その目標に向かって、自分が「いいえ」を選択した項目の中から、実施する項目を決めてみます。そして、今月はこの項目、今週はこの項目、今日はこの項目というように実行します。

(3) 「マナーキッズ®」調べの表彰 (この表彰は団体ごとの任意です)

5編合計点が
70点～79点 初級 80点～89点 中級 90点～99点 上級 100点 満点表彰の場合、
それぞれ表彰します。

上記点数に達しない場合においても、今回の5編合計点が20点以上向上した場合は、表彰します。

19

(4) 「マナーキッズ®」調べ表彰者発表会とマナーキッズ®大使の海外派遣

年1回、10月に、東京において、「マナーキッズ®」調べ表彰者発表会を開催します。特に優秀な方で、マナーキッズ®大使に該当する場合は、4年生以上から1名マナーキッズ大使に任命し、アメリカのサマー・キャンプへ派遣します。

(5) 「マナーキッズ®」調べの活用方法や取組み(例)

帳票をシステム会社にご送付頂きますと、個人宛報告書及び団体報告書(マナーキッズ®プロジェクトのホームページに見本を掲載)が郵送されます。個人及び団体の特徴が記載されておりますので、今後の取り組みの参考にして下さい。



・全体の目標設定

目標の持たせ方として、幼稚園・保育園、小学校の総合計点数が次回、例えば20点以上向上するように設定します。

そのための具体的施策として、例えば、校門での挨拶、朝礼での挨拶、授業開始時の挨拶、授業終了時の挨拶等を正しい姿勢で行います。

・先生の園児・児童に対する指導の仕方

園児、児童が保護者と話し合って決めた個人の目標設定に沿って具体的に指導します。

・先生と保護者の話し合い

先生と保護者は、保護者面談の際に、各園児、児童の目標点、改善の具体策についてふさわしいか話し合い、修正の必要がある場合は修正します。

言語、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範は何と言っても家庭での様、生活習慣次第ですので、保護者とよく話し合って下さい。

(5) 総合型地域スポーツクラブにおけるマナーキッズ®スポーツ教室



マナーキッズ教室 in 白井
平成19年9月30日(土)
ミニバスケット & テニス
千葉県白井市清水口小学校



2007 スポーツ&レジャーフェスティバル
平成19年11月30日(土)
キッズ柔道&キッズテニス
佐賀市嘉瀬川河川敷



第21回サッカーマガジンAUカップ
全国少年サッカー大会
マナーキッズサッカー in 菅平
平成20年7月19日(土)
菅平高原サッカー場

第2回卒業記念サッカー大会 MUFGカップ
(三菱UFJフィナンシャル・グループ)
平成21年2月14日(土)
ヴェルディサッカー場



第21回わんぱく相撲東京都大会in府中
平成21年6月27日(土)
大國魂神社境内相撲場
主催:社団法人むさし府中青年会議所



三菱東京UFJ銀行ラグビーカーニバル
マナーキッズプログラム
平成21年7月5日(日)
三菱東京UFJ銀行武蔵野グラウンド
BS-TBS「未来へのおくりもの」で紹介



(6) 文部科学大臣杯マナーキッズ®ショートテニス全国小学生団体戦



22

第6回文部科学大臣杯マナーキッズ®テニス全国小学生団体戦
平成22年12月11日(土)、12日(日)
横浜国際プール

(7) 「マナーキッズ®」調べ 表彰者発表会



第1回「マナーキッズ®」調べ 表彰者発表会
平成26年10月19日(日)
国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール



(8)マナーキッズ®大使の国際交流事業



第1回(平成18年6月)～第5回(平成22年6月) 英国・温ブルドン派遣

第6回(平成23年8月)～第9回

米国・ニューヨーク・フロストバレーサマーキャンプ派遣

礼

礼儀 自分も相手も気持ち良くなる	礼→グッドルーザー 勝負をこえたグッドルーザー
節義 庭球規則を知って規則に従ってプレーする	勝利は技術だけでとるのではない 全人格で取るのだ テニスを通じてよい人間になれ かかんなるとして、いさぎよい敗者であれ
→コート上でのマナー (マナーを守ることで、 自分も相手も気持ちがいい)	礼法→練磨 精進努力し実力をつける、練磨の体験 技をみがき体力をきたえ精神力を養うべき →コート以外の場所での 礼法 フェアプレーをするためにはコートマナーが大事だ。武士道も礼儀 作法などを大事にすること。 →フェアプレーするための マナー(どこでも同じ)

武士もスポーツマンも、マナー(節義)を大切にしなければならない。
テニスの初めと終わりに礼をする時には、ただ頭を下げるだけでなく、心をこめて礼をしないと礼とはいわないということ。
他人の気持ちに対する思いやりを目に見える形で表現すること。
思いやりの心をもつこと。
相手を思いやり敬う気持ちを持つこと。
自分のこと(損得)ばかりを考えるのではなく、他人を気づかう気持ちが大切である。
試合は礼で始まり、礼で終わる。人を敬うこと。人と人の関係を大切にすること。
自分に厳しく、他人に優しく。礼儀正しい人間。感謝の気持ちを忘れないこと。
技術だけでなく、日々精神や心をみがくことが大切である。

まとめ

「礼」とは

- ①感謝と思いやりを大切にする。
- ②礼儀を正しくする。
- ③相手を憎まず、自慢せず、不愉快にさせない。

(9)マナーキッズ®フォーラムの開催事業



キーノート・スピーチ 若月秀夫品川区教育委員会教育長 要旨 真の教育改革は品川区から—「市民科」と「マナーキッズ®プロジェクト」—

- 「今のマナーの悪さの根本原因は、戦後一貫して取り進めてきた我が国の教育方針に根ざすものと言えます。」
- 「日本の教育学の歴史を考えるとき、どうしてもドイツなどの観念論が日本には入ってきました。その影響が強いのか、非常に形而上学的なのです。要するに観念的であり抽象論的であり、心構え論的なのです。」
- 教育にはいくつかの原理があります。その一つに「教育は他律による自律への促し」という原理があります。最終的には自律を目指すのです。すべからく全ての人間がその中で生きてています。
- 今の現場の教員からは「他律」そのものにアレルギーを起こします。「子どもの持っている可能性を‥」すでに形而上学的なのです。「子どもの意欲を大事にしよう」「子どもの発想を大事にしよう」「子どもの目線に立って」、これらは否定のしようがありません。
- しかしそれに付随する具体的な戦略、方略、手段、方法を聞かれたとき、はたと現場は立ち止まってしまいます。そしてただ単に言葉のやり取りで終ってしまいます。その結果が今の子どもたちの公共心の低下、道徳性の低下につながっているのです。
- このことを全く意に返さないで相変わらず「命を大切にしよう」「思いやりを大事にしよう」など、この世の中に通用しないような物語の話しを子どもたちに読ませる。それはそれで悪いとは言いませんが、重要なことはそれを実現させるにはどうすればいいかということです。
- 教育における他律による自律を考えたとき、マナーキッズの皆さんがあつておられるテニスならテニスを材料にしてマナーを教える、これはある意味では他律なのです。このような具体的な行動を通して子どもたちにマナーや礼儀を自然な形で伝えていく、こういったものを基本に置かなければ、いくら尊く気高く美しく涙あふれるお話しを子どもたちが教室で聞いても、何のリアリティーもありません。
- 品川区では「市民科」を作りました。道徳性を高めるという余地も残しておりますが、具体的な行動様式も市民科には入れました。それを一緒にして一つの市民を作ることが市民科の目的です。そうした意味で本日のマナーキッズプロジェクトは本当に素晴らしいものだと思います。
- 私たち教育関係者がいくら文部科学省の教科調査官に訴えてもまるでダメです。代々受け継がれた古い頭がそのまま残っているのです。道徳教育には具体的な方法を入れなければダメだということを、皆さんたちから言っていただきたいのです。
- マナーキッズプロジェクトの皆さんには、品川区のやっていることに対してご理解、応援していただいておりますことを感謝申しあげます。こういった活動を今後とも大いに広げていただきますよう期待しております。

(10)文化活動・社会活動でのマナーキッズ®教室の開催事業

- 開催時間：1時間程度
- 開催場所：各教室、ホール
- 対象：幼稚園園児、小学生1年生～6年生
- 種目：料理教室、音楽教室、伝統芸能観覧会他
- 実施方法：礼法指導及び保護者への講義「家庭内の儀」



マナーキッズコンサート
早稲田大学グリークラブOBコーラス
「俱楽部グリー」のコーラス終了後、
昼食を取りながら食事作法指導
平成20年12月6日（土）
中央工学校21号館STEP

日本フィルハーモニー交響楽団
第一バイオリン奏者 松本克己さんの
演奏を聴いた後、マナーキッズテニス教室
平成21年3月7日（土）
東京都杉並区立井荻小学校



25

9 東日本大震災復興支援事業



仮設住宅に人工芝ショートテニスコートを寄贈



文部科学省から感謝状を授与

10 受講者の感想文、保護者からの手紙、小学校校長・教諭からの手紙

■受講者感想文

自分は、このマナーキッズテニスのことを聞いてどんなことをするのかと考えてきました。テニスをするのは分かっていたけどマナーはどうやってするのかなどと思いながら、その日を楽しみにしていました。そして、最初にしたのは、小笠原流の礼儀作法でした。最初は、あまり声を出していくなかったけど少しづつ声を出して慣れようとしました。そして、テニスを始めるとどんどん慣れていきました。コーチの人が色々教えてくれたのですぐできるようになったけど最後のボールの打ち返しではボールがラケットのわくの部分にあたり、変な方向にとんでいたりましたが、24回もできたのでよかったです。このマナーキッズテニス教室では、礼儀作法の大切さやテニスを通していい人になれということと楽しさが分かりました。これからも、礼儀を重んじて他のことでも、マナーを守っていきたいと思います。

(福岡県田川郡川崎町立川崎東小学校体育授業、6年生、男子)

私は、マナーキッズテニスをやって、学んだことはたくさんあります。その中で2つ心に残ったことがあります。一つ目は、お辞儀をしたあとに相手と目を合わせるということです。私は、以前までお辞儀をした後は目も合わせないでいたので、このマナーキッズテニスでお辞儀をした後には、かならず目を合わせるということを学びました。2つ目は、楽しくテニスをやるということです。何でも楽しくやっているとそのやっていることが楽しく感じて「もっとやりたい」、「続けたい」など思って、興味を持てるようになるからです。このことは、すべてマナーキッズテニスで学んだことです。ほかにもたくさん学んだことがあります、このことはすべて統け、小さな子どもたちにも礼儀を教えられるよう、すばらしい大人になっていきたいと思います。

(青森県八戸市新井田小学校体育・道徳融合授業、6年生、男子)

■保護者からの手紙

子供はとても勉強になったと思います。日常生活でこれだけ挨拶を気にすることはなかったし、自分自身も知ってはいても実行していない現実がありましたので、もう一度見直すによい機会になりました。自分は、中学三年間部活(軟式庭球)をしていました。一年生は球拾いと体力作りの毎日、挨拶はもちろん先輩達は怖い存在でした。現在では、スポーツ施設も充実しており、ロール引きは自分でする機会も減っているのではと感じます。武道では道場に入る前に一礼、国旗に一礼、先生に…と一つ一つ礼儀があり武道を習っている子どもたちは知らず知らずのうちに礼儀というものを身につけているのだと思います。テニスやその他のスポーツでも、もっともっとマナーが向上すると良いと思います。

練習を積み重ねて努力すること、強くなることは素晴らしいですが、最近人気のボクシング選手の立ち居振る舞いをみるとマナーが伴っていないように思われます。そんなことを思いながら、子どもたちのボールの玉拾いをしていました。スポーツ、学校、職場、日常、「あいさつ」はコミュニケーションをとる上で大切だと思います。今後もこのプロジェクトが発展し、全国に広まると思う。

(北海道釧路市保護者)

僕についての講義は、ドキリとするところがあったりで、これから自分が子どもに対してしなければならないことがわかり、とても参考になりました。日本の僕はとても奥深いと思いました。スポーツを通して礼儀を知り、人を敬う気持ちを持ち、大切な友をつくることができたら、子どもにとって素晴らしい財産になると思います。子供達の様子をみて、マナー(挨拶)は、誰でも教えれば、必ずできるのだと感じました。勉強だけできれば、テニスだけ強ければというではなく、正しいマナーを身につけた大人になって欲しいと思います。

(東京都西東京市保護者)

■小学校校長・担任教諭からの手紙

今回の取り組みからほぼ一ヶ月が経とうとしています。取り組み後の子どもたちの様子を見ていて実感として感じますのが、あいさつの仕方が確実に変わってきたということです。まず、自分からあいさつをする子どもが増えてきました。今までは、あいさつはよくできていたが、教師の方からするあいさつに返事をする子が多くなったように思います。それが今では、自分の方からあいさつをしなければと思い、元気よくしてくれるようになりました。

また、もう一つはしっかりと目を見てあいさつができる子どもが多くなったことです。これも、今回の取り組みの大きな成果です。テニスの指導を通して、このことができていない子どもに対しては「目を見てあいさつをしましょう」と何度も繰り返しやり直させてくださいました。なかには、しっかりと立ち止まりお辞儀をしてあいさつをする子も出てきました。このようなあいさつをされると、こちらも心から嬉しくなってしまいます。

さて、このような大きな成果があった今回の取り組みですが、これから本校の大きな課題は、これを一過性のものとするのではなく、着実に子どもたちに定着をさせていくことです。幸いプロジェクトの方からは、貴重な「フォロー要項(案)」をいただいています。これを参考にさせていただきながら、本校ではどのように保護者の方と協力しながら、子どもたちにあいさつや礼儀を定着させていくべきか、現在検討を進めています。

繰り返しになりますが、今回このような大変素晴らしい機会を与えていただきましたNPO法人「マナーキッズ®プロジェクト」の皆様とボランティアの方々には、あらためまして御礼申し上げます。そして、これから本校の子どもたちが、確実にあいさつや礼儀の作法が身に付いた子どもたちに育っていくことが、ご恩に報いる唯一の方法だと痛感しております。

皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念しまして、お礼のごあいさつとご報告とさせていただきます。

(東京都品川区立鈴ヶ森小学校市民科授業、校長)

11 マナーキッズ®セミナー

12 鈴木 万亜子総師範 著書 「お母さんのための子どものしつけとマナー」



著者:
鈴木 万亜子
監修者:
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト
出版社:
シーアンドアール研究所

13 田中 日出男理事長 著書 「スポーツと礼儀で子供は変わる—礼儀正しさのDNAは残っている—」



著者:
田中 日出男
出版社:
芸術新聞社

14 服部幸應の食育読本 「なぜ、好きなものだけ食べてはいけないの?」



著者:
服部 幸應
協賛:
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト
出版社:
シーアンドアール研究所

27 15 ヘルス＆マナーコミュニティ®活動とポイントカード

マナーキッズ®&マナーコミュニティ®・ポイントカードご協力のお願い

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、株式会社サイモンズと連携してマナーキッズ®&マナーコミュニティ®・ポイントカードを発行し、全国のマナーキッズ®教室の保護者他に配布します。

マナーキッズ®教室受講者の保護者他が、地元商店街等でマナーキッズ®&マナーコミュニティ®・ポイントカードを利用することにより、マナーキッズ®及びマナーコミュニティ®に対する関心を高めます。

そして、地域社会の方々が当該地域での挨拶運動他に参画することにより、マナーキッズ®教室のフォローの一翼を担っていただきます。

「ヘルス & マナーコミュニティ®〇〇」構想について

今までに多数の幼稚園園児・小学生児童がマナーキッズ®教室を体験しました。そこで分ったことは、子供は、「教えれば変わる」ということです。しかし、それが持続し、定着出来るかどうかは、学校、家庭、地域社会の対応如何であると思います。

そこで、市町村ぐるみ(人口が多い市、区においては、中学校の学区から始める)で挨拶運動、併せてマナーの向上を図る運動他を是非実施して頂きたいと思います。

弊公益社団法人は、子どもの健全育成に関し、「ヘルス & マナーコミュニティ®〇〇」をキーワードに町あげて取り組む活動を支援致しますので、ご希望の市町村、団体は、弊公益社団法人にご相談下さい。



ポイントカードで
地域社会を活性化!

自治会長会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、老人会、交通安全協会、消防団、保護司会、更生保護会、公民館、PTA、子ども会、スポーツ少年団、児童館、学童保育、学校評議員会、商店会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所、企業、企業OB、駐在所、大学・高校・中学OB会他

1. キャッチフレーズ(公募)例示

- ・「挨拶が飛び交う健康タウン〇〇」
- ・「おもてなしの心を世界に発信〇〇」

2. 実施単位

市町村単位

人口が多い市、区においては、中学校の学区から始めます。

3. 実施事項及び効果測定項目例示

別紙参照

4. 協力団体例示

16 遺言・相続・香典によるご寄付(宮城 黎子リマインドボール他)

遺産の寄付をお考えの方へ

子供は教えれば、 変わる

— 礼儀正しさの
DNAは残っている —

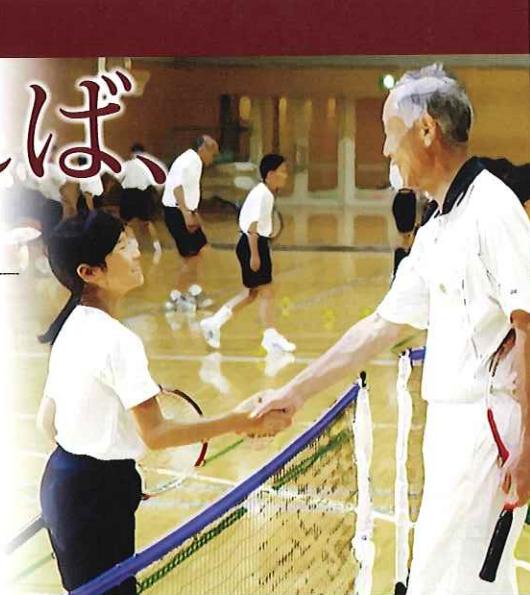
次世代を担う子供の健全育成に更なるご支援を

寄付財産には相続税がかかりません。

香典
供花代の
ご寄付

遺贈による
ご寄付

相続財産からの
ご寄付



子供・若者の状況がおかしい。多くの人がそう感じるようになって、ずいぶん時間が経ちます。

マナーキッズ®プロジェクトは、スポーツや文化活動を通じ、

日本の伝統的な礼法を体験し、**<体・徳・知>**バランスのよい子供を育てる公益社団法人です。

プログラムは、子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかける**<体育>**、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる**<德育>**、運動で知性を育む**<知育>**を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ています。

相続財産からのご寄付

相続財産の中から公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトにご寄付くださることで
故人の想いを実現し、ご家族で共存される方を募集しております。

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、国税庁より「公益社団法人」として認定されており、
相続税の申告期限内に寄付をした場合、寄付をした財産には、相続税がかかりません。

大切な遺産からご寄付いただいた場合、ご希望により感謝状をお贈りしています。



香典・供花代のご寄付

ご葬儀の折り、お香典や御花料の「お返し」を「マナーキッズ®募金」に代えて、日本の子供たちのため
に活かすことができます。

お香典や御花料をくださった方々へのお礼状をご用意させていただきます。

(サンプルをお送りいたしますので、故人様のお名前と、お礼状のご希望の枚数をご用命ください)

遺贈によるご寄付

遺言書をつくり、遺す財産を特定の人や団体に贈ったり、寄付することをいいます。一部またはすべての財産の受取人として、公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトを指定することによって、日本の子ども達の健全育成のために遺産を役立てることができます。

寄付財産には相続税がかかりません。

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトに遺贈いただいた財産は、相続税の課税対象になりません。

寄付のお申込み・お問合せ

お礼状サンプル(葉書サイズ、上質紙)

寄付に関しては、さまざまな注意点がございます。より詳しい資料をご用意しておりますので、裏面の「資料申込フォーム」をご記入の上、
FAX(03-6426-1580)またはE-mail(office365@mannerkids.or.jp)にてご連絡ください。



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

〒166-0002
東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階
TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580
E-mail: office365@mannerkids.or.jp
URL: http://www.mannerkids.or.jp/

指導風景・指導要領を
動画でご覧いただけます。

マナーキッズ

検索

17 行政・ロータリークラブ他のご支援内容

行政の予算化

年 度	場 所	予 算 額
26年度	東京都品川区	約650,000円
	東京都墨田区	約970,000円
	福岡県北九州市	約700,000円
	岡山県倉敷市	約100,000円
	北海道恵庭市	約80,000円
	北海道当別町	開催経費
	高知県香南市	約46,500円
	高知県高岡郡日高村	約27,000円

ロータリークラブ他のご支援

	ロータリークラブ卓話	開催支援
北海道	当別ロータリークラブ	当別ロータリークラブ
宮城县	仙台ロータリークラブ	佐沼ロータリークラブ
新潟県	長岡東ロータリークラブ	一般社団法人小千谷法人会
栃木県	宇都宮陽東ロータリークラブ	
	宇都宮ロータリークラブ	宇都宮ロータリークラブ
群馬県	渋川ロータリークラブ	
茨城県	つくばシティロータリークラブ	
東京都	東京あすかロータリークラブ	東京あすかロータリークラブ
	東京王子ロータリークラブ	東京中央ロータリークラブ
	東京目黒ロータリークラブ	むさし府中青年会議所
	東京中央新ロータリークラブ	調布青年会議所
	東京日本橋ロータリークラブ	東京(墨田)青年会議所
	東京中央ロータリークラブ	東京青年会議所
	東京品川中央ロータリークラブ	
	東京蒲田ロータリークラブ	
	東京武蔵野ロータリークラブ	
	東京麻布ロータリークラブ	
	東京ロータリークラブ	
	早稲田大学武蔵野稻門会	
	早稲田大学東京都23区稻門会	
	府中市親学協議会議員連盟会合	
神奈川県	新川崎ロータリークラブ	新川崎ロータリークラブ
	川崎南ロータリークラブ	川崎南ロータリークラブ
	鶴見北ロータリークラブ	川崎中央ロータリークラブ
	川崎幸ロータリークラブ	川崎日吉ロータリークラブ
	館山ペイロータリークラブ	川崎ロータリークラブ
	横浜保土ヶ谷ロータリークラブ	ふじさわ湘南ロータリークラブ
	川崎中央ロータリークラブ	横浜青年会議所
	横浜中ロータリークラブ	
	川崎ロータリークラブ	
	2590地区第1・2・3IM	
	川崎大師ロータリークラブ	
	ふじさわ湘南ロータリークラブ	
	早稲田大学川崎稻門会	
	早稲田大学横浜稻門会	
	川崎マネジメント研究会	
山梨県		甲府ライオンズクラブ
愛知県		名古屋商工会議所
大阪府	大阪東ロータリークラブ	大阪東ロータリークラブ
岡山県	倉敷南ロータリークラブ	倉敷王子ライオンズクラブ
		「小さな親切」運動倉敷市児島支部
山口県	山口ロータリークラブ	山口ロータリークラブ
福岡県	遠賀ロータリークラブ	遠賀ロータリークラブ

卓話テーマ：「子供は教えれば変わる 一礼儀正しさのDNAは残っているー」



福岡支部が公益財団法人 笹川スポーツ財団より「SSFスポーツアワード2010」に選定される。

選定理由:スポーツを通じて子ども達が礼節を学ぶ事業であり、民間と行政の連携により導き出された先駆的な取り組みであることを評価。



18 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの会員・会費及び寄付

- 正会員（議決権を有します）
 - 当公益社団法人の目的に賛同して入会し、活動及び事業を推進する個人及び団体(法人)
- 賛助会員
 - 当公益社団法人の目的に賛同して入会し、活動を援助する個人及び団体(法人)
- 活動会員
 - 当公益社団法人の目的に賛同して入会し、活動に参加する個人及び団体(法人)
- 寄付
 - 当公益社団法人の目的に賛同する、個人及び団体(法人)
- 遺言・相続・香典による寄付
 - 寄付財産には、相続税がかかりません。

	入会金	年会費
個人正会員	30,000円	10,000円
団体(法人)正会員	50,000円	20,000円以上二口20,000円、三口以上
個人賛助会員 ^{※1}	0円	1,000円以上二口1,000円、三口以上
団体(法人)賛助会員	0円	10,000円以上二口10,000円、三口以上
個人活動会員	0円	0円
団体(法人)活動会員	0円	0円
個人寄付 ^{※1}	0円	1,000円以上二口1,000円、三口以上
団体(法人) ^{※2} 寄付	0円	10,000円以上二口10,000円、三口以上

※1 2,000円以上の賛助会員会費及び個人寄付金は免税対象になります。

所得税額の控除額（税額控除を選択した場合）→（寄付金額-2,000円）×40%

住民税額の控除額（都道府県と市町村双方が指定した場合）→（寄付金額-2,000円）×10%

※2 法人寄付に係る優遇措置

当公益社団法人に対する寄付金は、一般の寄付金の「損金限度額」と別枠で次の算式による「特別損金算入限度額」まで損金算入が認められます。

（資本金等の金額×0.375%+所得金額×6.25%）×1／2

<遺言・相続・香典によるご寄付> ご寄付には、相続税が課税されません。

19 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト理事・監事・顧問略歴

理 事 長	田中 日出男	マナーキッズ®プロジェクト発案者 元 三菱化学株式会社常務取締役 元 江本工業株式会社社長 インパクト・コンサルティング顧問
副 理 事 長	宮司 正毅	北海道当別町長 元 三菱商事株式会社常務執行役員 元 南アフリカ共和国北海道地区名誉領事
	明石 要一	千葉県敬愛短期大学学長 千葉大学名誉教授 文部科学省中央教育審議会委員
理 事	大森 肇	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 鈴木 万亜子 小笠原流礼法 常任理事・本部教授・総師範
	木村 和彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
	大藤 耕治	元 株式会社三菱銀行参与 元 株式会社日教出版社長
	本多 通博	元 日本ピクター株式会社東京支店営業部長 和歌山県テニス協会副会長
	栗山 欣也	日本アイ・ビー・エム株式会社シニア・マネージングコンサルタント
	杉崎 俊夫	元 ゼネラル石油株式会社名古屋支店長 シアルコンサルティングジャパン代表
監 事	中島 康雄	元 ゼネラル石油株式会社監査部長 元 トイザラス・ドット・コム ジャパン株式会社常勤監査役
	中川 刚	税理士 練馬区社会福祉協議会監事 練馬区産業公社監事
顧 問	山本 浩	法政大学スポーツ健康学部教授 元 NHKアナウンサー・解説副委員長
	永井 順國	放送大学教育振興会理事 青少年教育振興機構運営・諮問委員 政策研究大学大学院客員教授、前女子美術大学教授 元 読売新聞論説委員
	間野 義之	早稲田大学スポーツ科学学術院教授、博士(スポーツ科学) 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与 一般社団法人日本アスリート会議副理事長 日本体育・スポーツ経営学会常任理事

20 開催要請書

マナーキッズ教室開催要請書

平成 年 月 日

開催を希望される団体は、次の欄にご記入頂き、公益社団法人マナーキッズプロジェクト宛
FAX(03-6426-1580)かEmail(office365@mannerkids.or.jp)して下さい。

団体名	
種目	
代表者ご氏名	
担当者ご氏名	
参加予定人数	
住所	〒
電話	
FAX番号	
Email	
開催希望年月日	第1希望 第2希望 第3希望 第4希望
開催方法 (該当する箇所に印をおつけ下さい)	<input type="checkbox"/> 授業として行う <input type="checkbox"/> 授業以外の学校行事として行う <input type="checkbox"/> 総合型地域スポーツクラブの行事として行う <input type="checkbox"/> スポーツ少年団の行事として行う <input type="checkbox"/> その他()
ご意見・ご質問	

21 e-マナーキッズ®の展開と情報発信

- ① マナーキッズを多くの人に知ってもらう、広める。
- ② マナーキッズ通信のEメールによる発信をする。
- ③ 新パンフレット・情報誌をホームページに掲載し、マナーキッズの精神の訴求を図る。
- ④ マナーキッズ®テニス教室の司会進行要領・指導要領をホームページにおいて動画配信し、Q&Aの形式で指導又は助言を行う。
- ⑤ スポーツ種目を幅広く展開し、Eメールで配信し、礼節を教える。
- ⑥ リンク先の充実を図り、マナーキッズの普及を図る。

32

下記に関する内容はこのパンフレットには含まれておりません。

- 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの支部結成募集
- マナーキッズ®教室フォロー要領
- マナーキッズ®教室指導要領
- 保護者の皆様へ
- 感想文テーマ

詳しくはホームページをご参照ください。

<http://www.mannerkids.or.jp/>

発行日

平成26年11月25日

発行所

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト

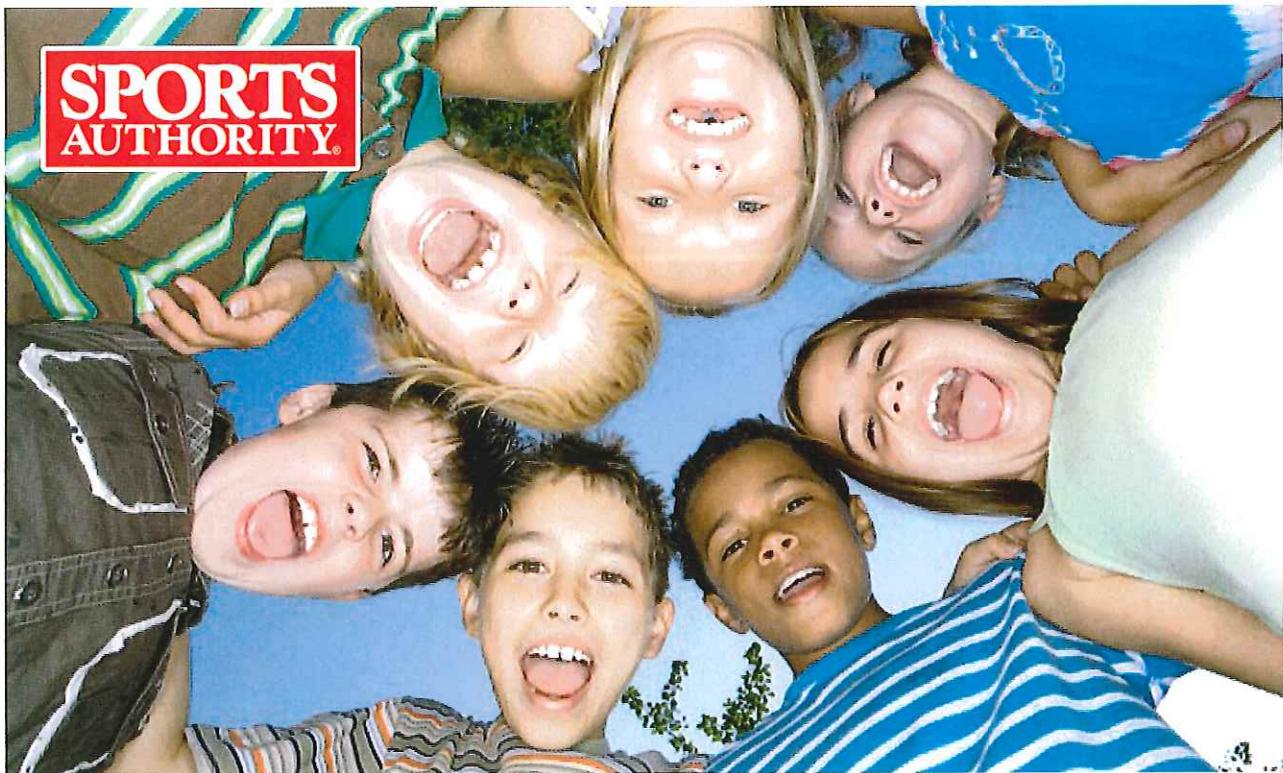
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ4階

電話 03-3339-6535

FAX 03-6426-1580

E-mail office365@mannerkids.or.jp

URL <http://www.mannerkids.or.jp/>



スポーツオーソリティは
マナーキッズ®プロジェクトを応援しています。

スポーツオーソリティ

スポーツオーソリティ 検索

オンラインショップも好評営業中!

気軽にアクセス、選べる・買える。
ONLINE SHOP
www.sportsauthority.jp



マナーキッズ。

マナーキッズ®
プロジェクト

次世代を担う子供の健全育成のため、
一緒に汗を流しませんか!!

ボランティア

募集

募集要項

- | | |
|--------------|---|
| 1. プロモーター | マナーキッズ®教室・マナーキッズ®体幹遊び・「マナーキッズ®」調べに関わる当該教育委員会、小学校、幼稚園・保育園に対する働きかけ役 |
| 2. 子供向け挨拶指導者 | 子供向けの正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方の指導者 |
| 3. ディレクター | マナーキッズ®教室、マナーキッズ®体幹遊びの司会進行役 |
| 4. リーダー | マナーキッズ®ショートテニス教室の指導者
子供に対する指導の仕方は、開催日にお教えいたしますので、ご心配はいりません |

